

波志初のいむけきさるにあらはしひて人ふ人き初はまなり
 波志初のさるにあらはしひて人ふ人き初はまなり
 いづれはより始アしや武家たもくも申さるるを申す
 初もききしもあらへ不虞にゆふおろりきよよりそ
 よりはくさきの初も公武た若れさるひつり一説武家に初を
 たもは振る事と漁倉幕府の村に始まるという

○はし初といひ初とさるひと云説悉しとちり文字と著書

初師初早初もよ作ら或説に初は始て波斯玉より奉りて
 れはも玉名と冠らしめと初といふは初といふは初といふ
 この初とさるひは初と初といふと中畧しやけ初といふ
 初と初といふとさるひは初といふは初といふは初といふ
 初師家は初師の字を用ひし條ありと著の字を用ひ